（様式N）

（海外特別研究員事業）

外国出張日程表

**≪外国出張計画書・様式N外国出張日程表　記入例（派遣開始手続・派遣期間短縮）≫**

採用年度： 令和5年度　　　　　受付番号：202360999

氏名：学振　太郎

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 年　月　日 | 出　　発　　地 | 到　　着　　地 | 宿　　泊　　地 | 研究従事機関等及び用務 |
| ≪派遣開始時に日本を出発し、派遣終了時に日本に帰国する場合≫ |
| R5.4.1 | 成田 | 派遣先（都市名） |  | ← 移動が一日で終了する場合 |
| R5.4.2～R7.3.29 |  |  |  | 本研究課題に関する研究活動遂行 |
| R7.3.30 | 派遣先（都市名） |  | 機中泊 | ← 移動に二日間かかる場合 |
| R7.3.31 |  | 成田 |  |
| ≪派遣開始時に渡航済、派遣終了時に派遣国に滞在する場合≫ |
| R5.4.1～ | 渡航済（往路放棄） | 派遣先（都市名） |  | 本研究課題に関する研究活動遂行 |
| R7.3.31 | 派遣国に滞在（復路放棄） |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

（注） ①出発地、到着地、宿泊地には都市名を記入してください。

 ②旅行期間（日本出国日から帰国日まで）を記入してください。なお、派遣期間の開始日に日本を出発し、派遣期間の終了日に日本に到着するようにしてください。

（一時帰国の場合）一時帰国期間（日本到着日から日本出国日まで）のみを記入してください。

（付加用務の場合）付加用務期間分も記入し、研究従事機関等及び用務欄に「付加用務」と明記してください。

 ③航空機による移動の最中に日付が変わる場合は、宿泊地の欄を「機中泊」とし、移動両日を記載してください。

 ④派遣開始時点で既に用務地に渡航済の場合は、出発地欄に「渡航済（往路放棄）」と記入してください。

⑤派遣終了後も派遣先国に滞在する場合は、出発地欄に「派遣国に滞在（復路放棄）」と記入してください。